

(参考様式1)

人・農地プラン

市町村名	地区名	センサス集落名	当初作成年月	更新年月(2回目)	更新年月(3回目)	更新年月(4回目)	地区面積 (農用地面積)
日高村	本郷・加茂地区	本郷谷、父原、蛸野、柳ヶ原、柏井、大和田、井崎、鹿沢、宇井、西路、岩目地蔵、岩目地蔵、平野、下の谷、竜石、丸塚	平成26年1月	平成29年3月	平成30年3月	平成31年3月	72ha

1. 今後の地域の中心となる経営体(担い手)

属性	経営体 (氏名)	経営者・代表 者の年齢	構成員 (従業員)	後継者の 有無	現状 【平成30年度】		計画 【平成31年度】		農地中間 管理機構 からの借入 希望の有 無	新規就農・ 6次産業化・ 高付加価値化・ 複合化・ 低コスト化・ 法人化 等の取組	取 組 年 度	活用が見込まれる施策				備考
					経営内容 (作目)	経営規模 (ha、頭数等)	経営内容 (作目)	経営規模 (ha、頭数等)				農業次 世代人 材投資 資金 (開始 型)	スー パーL 資金の 金利負 担軽減 措置	経営体 育成支 援事業	その他 ( )	
認農	壬生 豊秀	69 才	2 (2) 名	無	高糖度トマト	0.45 ha	高糖度トマト	0.45 ha	無							
	矢野 忠茂	58 才	2 (1) 名	無	高糖度トマト	0.30 ha	高糖度トマト	0.30 ha	無							
認農	正岡 知也	38 才	2 (2) 名	無	高糖度トマト 水稲	0.45 0.39 ha	高糖度トマト 水稲	0.50 0.39 ha	有							
	川瀬 康	42 才	1 (4) 名	無	高糖度トマト	0.27 ha	高糖度トマト	0.27 ha	無							
認農	松岡 隆久	50 才	3 (4) 名	無	高糖度トマト 水稲	0.80 0.35 ha	高糖度トマト 水稲	0.86 0.35 ha	無							
認農	濱田 善久	58 才	2 (2) 名	無	高糖度トマト	0.26 ha	高糖度トマト	0.28 ha	無							
	大川 孝行	63 才	1 (2) 名	無	高糖度トマト	0.40 ha	高糖度トマト	0.40 ha	無							
	柏井 康志	67 才	2 (1) 名	有	イチゴ 水稲 ブドウ	0.2 0.33 0.04 ha	イチゴ 水稲 ブドウ	0.2 0.33 0.04 ha	無							
	松岡 弘城	75 才	4 (2) 名	無	花卉	0.40 ha	花卉	0.40 ha	無							

認農	森下 道男	69	才	2 (3)	名	有	高糖度トマト	0.50	ha	高糖度トマト	0.50	ha	無						
認農	横山 滝弘	59	才	3 (2)	名	無	高糖度トマト	0.37	ha	高糖度トマト	0.37	ha	無						農業近代化資金 (認定農業者にかかわる特例)
新認農	岡田 朋久	40	才	1 (3)	名	無	高糖度トマト	0.37	ha	高糖度トマト	0.37	ha	無						農業次世代人材投資資金交付1年目
新認農	大川内 剛	48	才	1 (2)	名	無	高糖度トマト	0.30	ha	高糖度トマト	0.30	ha	無						
認農	中山 隆之	46	才	2 (2)	名	無	高糖度トマト	0.37	ha	高糖度トマト	0.37	ha	無						
認農	山崎 博康	50	才	2	名	無	高糖度トマト	0.21	ha	高糖度トマト	0.21	ha	無						
	北添 安	70	才	1 (1)	名	無	サクランボ 水稲	0.08 0.14	ha	サクランボ 水稲	0.08 0.14	ha	無						
	藤岡 利幸	62	才	1	名	無	水稲	0.51	ha	水稲	0.51	ha	無						
	川瀬 健	69	才	2	名	有	水稲 トマト	0.91	ha	水稲 トマト	0.91	ha	無						
	藤原 利彦	62	才	1	名	無	水稲	0.15	ha	水稲	0.15	ha	無						
	山岡 直純	52	才	2	名	無	生姜	0.98	ha	生姜	0.98	ha	有						
新認農	北添 裕務 寛子	44 39	才	2	名	無	高糖度トマ ト	0.4	ha	高糖度トマト	0.4	ha	有						農業次世代人材投資資金交付終了
	戸梶 義久	55	才	1	名	無	水稲 生姜 オクラ	3.03 0.26 0	ha	水稲 生姜 オクラ	3.66 0.26 0.14	ha	無						
認定	(株)コスモスアグリ サポート			4 (2)		有	トマト 高糖度トマ ト	1.2 0.4		トマト 高糖度トマ ト	1.2 0.4	ha	有						
	(株)イチネン農園			4		有	ミニトマト	2.1		ミニトマト	2.1	ha	有						
	合計 ( )						実面積	16.9	ha	実面積	17.8	ha							

## 2. 1から見た地域における担い手の確保状況

担い手は十分確保されている／担い手はあるが十分でない／担い手がいない

### 3. 将来の農地利用のあり方

取組事項	対応
担い手に集積・集約化する	○
担い手の分散錯圃を解消する	
新規参入を促進して、新規参入者に集積・集約化する	○
耕作放棄地を解消する	
その他【右欄に自由に記載】	

### 4. 3についての農地中間管理機構の活用方針

取組事項	対応
地域の農地所有者は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける	
農業をリタイア・経営転換する人は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける	○
担い手の分散錯圃を解消するため利用権を交換しようとする人は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける	
その他【右欄に自由に記載】	

### 5. 近い将来農地の出し手となる者の農地

近い将来農地の出し手となる農業者(氏名)	年齢	現状 〔平成〇〇年度〕		計画 〔平成〇〇年度〕		利用しなくなる農地面積	農地中間管理機構への貸付け希望の有無	
		経営内容(作目)	経営規模の合計(ha、頭数等)	経営内容(作目)	経営規模の合計(ha、頭数等)		農地面積	貸付時期
	才		ha		ha	ha		ha
	才		ha		ha	ha		ha
	才		ha		ha	ha		ha
	才		ha		ha	ha		ha
合計		実面積	ha	実面積	ha	ha		ha

### 6. 今後の地域農業のあり方

今後の地域農業のあり方(地域の中心となる経営体とそれ以外の農業者を含めて)		
取組事項	対応	コメント
生産品目の明確化		当地区は、高糖度トマトの産地でもあり、光センサーを導入し精度の選別によるトマトのブランド化を行っており、今後も地域の中心的農業者として大きな役割を果たしていくことが期待される。今後は、更なるブランド化の推進とともに、経費を圧迫している重油対策、地球温暖化対策の為に省エネルギーでの生産に取り組んでいく。また、トマト栽培については、指導農業者もいることから、新規就農者がスムーズに研修ができるよう支援していく。また、平成28年9月にJA出資法人の設立され、研修ハウスが建設された。また、(株)イチネン農園(本社大阪市)が企業進出しており、高軒高の次世代型ハウスが建設された。農地については、中間管理機構を通じた賃貸借を進め、規模拡大や新規参入(企業参入)を促進する。それ以外の農業者のあり方としては、平成25年度から実施している農地・水保全管理支払交付金を活用し、農地の維持管理を行うとともに、農業機械に係る経費を削減することで農地を守る仕組みとして、集落営農についても検討を行っていく。
複 合 化		
6 次 産 業 化		
高 付 加 価 値 化		
新 規 就 農 の 促 進	○	
そ の 他 [ ]		

